

昭和32年8月15日	前	橋	市	廣	報	【佛月一	•8 -† - <u>8</u> -8	發行)	第145	號	(2)
前市長期屋雄氏(六三)は実石症 前市長期屋雄氏(六三)は実石症 のため群大病院に入院加渡中であ りましたが、七月二千三日午後九 時三十分逝去さたました。葬儀は ておひそかに執行されました。 準備信用金庫弾をもつ でおひそかに執行されました。 準備にあいて前橋信用金庫弾をもつ でおひそかに執行されました。 準備にあいて前橋信用金庫弾をもつ であっそかに執行されました。	前市長堀康	、出験考慮の	帯員全員について記入して下さい。	書一用紙が記布されますから世	本調査 9月15日-20日 20日	の皆さんの御筋力を治願い致します。	より工作な表見があかるよう市民調査は準備調査と本調査と二回に	二十一日から殆ります。この実地住民容豪実地調査がいよいよ来る	21 ×	8 n	住民登錄
	雄氏死亡	いた居住申告書を市		間しますから、その際記入した て、月二十五日までに区長さん双	◇居住申告書の提出	上さん又は直接市役所市民課へ	8居住申告書の記入については裏	て下さい。	日から準備調査、	なく提出しましよう	民登録居住申告書を
新会品を養養しています とり御茶知の通りであり、層次宅 におしましては同常に堪えないも のがあります。「災害は忘れた頃 におしましては同常に堪えないも のがあります。「災害は忘れた頃 にやって来る」と言われています。 「災害は忘れた頃」にや つて来るか知れません。不時の災 書に備えて方金の対策を譲じるこ との必要なことは言うまでもあり 生んが、不幸な後害を蒙つた人々 まんが、不幸な後害を蒙つた人々 こで本市といたしましては今回の 九州地方の層炎を換えた、その救 たるきのて今後も発生が心配され 優を含めて今後も発生が心配され	曜災者救援の	「絵称部市民課)	そうろので 工作は言えして てっていっ	シモトロで、圧重した人、と下さのとの「居住申告書」は、本年の	ったかどうかを確認します。	に調査員(市の職員)が省さんの	司って司告の長売を収扱います。	たまま住民客孁の届けをしてない	來月本調査	ましよう	を
三回百日 三回百日 三回百日 三回百日 三回 三回百日 長二回百日 長二回百日 長二回百日 長二回百日 長二回百日 長二回百日 長二回百日 長二回百日 長二回百日 長 一 市 長二回百日 長 市 長二四百日 長 市 長 二 十 日 に 泉 三 で 行 われる 全 国 大 会 に 古 の 二 十 白 に 泉 三 で 行 われ、 前 構 二 十 子 市 の 一 に 泉 三 で 行 われ、 前 構 二 十 つ に 泉 三 で 行 われ、 前 構 二 十 白 に 泉 三 で 行 われ、 前 構 二 十 白 に 泉 三 で 行 われ、 前 構 二 十 日 に 泉 三 で 行 われ、 前 構 二 十 日 に 泉 三 で 行 われる 全 国 大 会 に 志 の 一 石 七 に 泉 で 行 われる 全 国 大 会 に 志 の 一 一 一 一 日 長 一 一 一 七 に 泉 で 元 わ 九 日 午 長 前 備 示 一 一 一 一 日 の 一 二 十 日 に し て 参 加 す る つ る こ と し て 参 加 す る つ る こ と し て 参 加 す る こ ら て た に 古 の 一 こ ら つ る こ に 古 の 一 ら 一 百 一 下 吉 の 一 で 石 わ 九 二 十 日 三 下 古 の 一 百 一 下 一 西 一 百 一 下 一 西 一 一 三 一 百 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	晴れの一		十五日まで災害調消金品の募集を	首いもち病防除は亮生を見る前	種の時に感染します。このため穂	筆の「付け王一の所が黒く病気に	神首いもち病は共同防除で防ご	ドドハ。ス新島の寺士新布ノロ也高めてから水を入れるようにして	掛け、又冷水のかくる場所は温水を心間に一個なりに得かとして調査水を心	意し、灌漑水の温度は摂氏三Dー	型の気象を思なのでた「気を取ったま 今年は昭和二十八年と同様の冷害
4 contrast の 八月士九日 桃井小学校 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	縣代表に決る	さん母子が	治暦い致します。 (社会部厚生課)	予報に元分注意して被害を最少限	九月は台風の来る時期です。気象	に記付いたしました「チラシ」を撒布方法については先に霍手もと	とに潤菌の撲滅に心掛けて下さい	これから	で本市でも毎年多くの被害を出し	なセレサン石灰等の水銀剤が良い	着するにはいできます。市会書和
市内四カ 所に 吉택戦 会通見、幸い差見者の機智で浸書 な免かれましたが、とれかった養蟻 を発見、幸い差見者の機智で浸書 な免かれましたが、とれからます ます発生するのではないかと思わ ます発生するのではないかと思わ ます発生するのではないかと思わ ます発生するのではないかと思わ ます発生するのではないかと思わ ます発生するのが時色です。 の他について記してみます。 や近くで発生した場合は繁麗のの 電灯を癒力暗くすること、養餓 を発見した場合は素手で捕らえ ることは危険です。みれ離市、 私の復零で捕獲するのが安全で	ク 樹 小蔭夜	● 芳賀診療所	ク 桃川小学校	客を受けた時は福の茎を折らぬよ	や杭木で事前対策をなすと共に被	は肩水最前が良い。 病)の防除をやりましよう。薬剤		れからの農作業	超し数株づつ寄せて立ててやるの	の、日恵と方をたくこう、よる町 て宿の倒伏を防ぎ、乾風書で起り	度にとどめるよう対策を立てる必要があります。
登防法看の たでは次のとぶり熱きない。 市では次のとぶり熱きたたので、 最高のお知らせ 市では次のとぶり熱きたたので、 見ついた。 たろい、でお出かけ下さい。。 には うましたので、 見一十七日 越南小学校 同一十四日 広潮河畔 同二十一日 佐久間河畔 同二十一日 佐久間河畔 同二十一日 佐久間河畔 同二十一日 佐久間河畔 同二十一日 佐久間河畔 同二十一日 佐久間河畔 同二十一日 佐久間河畔 一 大眼母記が であまで か 学校 1 一 十 四 日 二 十 四 日 小 二 大 四 日 二 二 五 四 告 二 二 五 四 告 二 二 五 四 日 二 二 一 日 四 二 一 日 四 二 二 一 日 四 二 二 一 四 日 二 二 一 四 日 二 二 一 四 日 二 二 一 四 日 二 二 一 四 日 二 二 一 四 日 二 二 一 四 日 二 二 一 四 日 二 二 一 四 二 一 一 一 二 一 一 二 一 一 一 一 二 一 一 一 一 一 二 一 一 一 一 二 一 一 一 一 一 一 二 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	結核豫防と	いたと言い言語などのである。	直ぐ石崎水で洗い流すほか、 ア	す。もし産成こさされた場合は	農業技術課、普及事務所、農業協	立て台風から守ってやりましよう	●星樹は若木や様木したものは折い。	れたこうのといたとういわけで、X 下肥晴の液肥を施用して生育の遥	めのものも収穫しましよう。台風ラをすると良いです。果業額は若	●承講菜、大根、白菜は合風前に	ト。 「三葉出ていれば相実するもので」